

施設計画

オープンスペースを活かした魅力的なキャンパスを創造する施設の整備



施設と同時に中庭等を整備しつつ、低層の施設を集約化し、土地の有効活用と快適な環境形成を図ることが出来る施設配置を目指す。
 主たる骨格に面する施設のデザインは、歴史的建造物との調和に配慮し、基本的にスクラッチタイルを用いた縦基調のデザインとする。また、ランドマークとなるアイストップやコーナー部分などはキャンパス全体の景観に変化やアクセントを与える質の高いデザインとする。

■新規整備施設（短期）

整備施設		計画規模	階数
1 総合研究棟(仮称)	改修	7,791㎡	4階
2 電気通信研究所2号館	改築	9,168㎡	5階
3 電気通信系総合研究棟(仮称)	新築	13,000㎡	6階
4 多元物質科学研究所西1号館	改修	6,653㎡	3階
5 無冷媒超伝導マグネットシステム実験棟(改修)	新築	500㎡	2階
6 産学連携材料研究開発拠点(仮称)	新築	6,600㎡	5階
7 流体科学研究所1号館	改修・増築	2,375㎡+α	4階
8 超音速燃焼試験棟	改修	230㎡	2階
9 NICT棟(仮称)	新築	2,000㎡	4階
10 21世紀情報通信研究開発センター	改修	1,343㎡	3階

■新規整備施設等に伴う取壊・移転施設（短期） ※：その他付随する小規模な倉庫等含む

	整備施設	面積	階数	備考
南	A 試作工作室	469㎡	1階	2に機能移転
	B 通研水素実験室	26㎡	1階	片平キャンパスに整備
	C テニスコート	4面		青葉山新キャンパスに整備(一時富沢)
	D 超高密度知能研究棟	527㎡	1階	3に機能移転
	E 超高密度測定研究棟	787㎡	2階	3に機能移転
	F 武道場	258㎡	1階	川内キャンパスに整備
	G 学生ホール	569㎡	1階	
中央	H 無線部鉄塔			青葉山新キャンパスに整備
	I 公孫樹売店	242㎡	1階	6片平北門会館として整備

- 新規施設
- 新規施設(改修)
- 仮施設
- 撤去施設
- 主たる骨格
- 主たる広場・公園型オープンスペース
- モール
- 樹木(航空写真より)
- 敷地境界